

青少年健全育成に関わる取組みのあゆみ

年	項 目
昭和26年 (1951年)	<p>大阪府青少年問題対策審議会設置される</p> <p>答申 青少年の健全育成には、青少年が自ら健全な活動が出来る施設の設置とあいまって、よき指導者の育成が急務である</p> <p>○少年非行戦後第1のピーク</p>
昭和28年 (1953年)	<p>地方青少年問題協議会設置法により、同年7月、吹田市青少年問題協議会(市教育委員会の所管)が設置され、同協議会が吹田市青少年問題指導員として委嘱(現在の吹田市青少年指導員)</p>
昭和32年 (1957年)	<p>9月、吹田市青少年問題協議会が吹田市青少年指導員を委嘱し任意の団体として吹田市青少年指導員会が発足される</p>
昭和33年 (1958年)	<p>こども会リーダー協議会発足 現在の吹田市子供会育成協議会</p>
昭和36年 (1961年)	<p>吹田市青少年山の家(～吹田市青少年野外活動センター) オープン 現在は吹田市自然体験交流センター</p>
昭和38年 (1963年)	<p>こども野外カーニバル(千里北公園、野外活動センター)で実施 (吹田市こども会育成協議会委託事業) 現在委託事業なし</p>
昭和39年 (1964年)	<p>各地区に「青少年対策委員会」を設置 (青少年問題協議会が結成に尽力)</p> <p>○こども会活動が中心になっていた活動を、幅広い青少年活動への転換及び地域の特色を生かした行事を効果的に展開するために設置</p> <p>○青少年指導員会を中心に各種団体で結成</p> <p>○子供を悪い環境から守り、健全な青少年を育成するために設置</p> <p>○少年非行戦後第2のピーク</p>
昭和40年 (1965年)	<p>ユネスコ成人教育推進国際委員会 「生涯教育の提唱」</p>
昭和43年 (1968年)	<p>吹田市少年補導センターが開所し、非行防止活動に重点をおいた青少年指導ルーム指導員制度が発足し、市教育委員会より委嘱され、青少年指導員とともに青少年の健全育成、地区内のパトロールや街頭指導、環境浄化活動を展開した</p>
昭和46年 (1971年)	<p>46答申 「中央教育審議会答申」「社会教育審議会答申」 生涯学習の観点から教育全体を体系的に整備</p> <p>○教育委員会より社会教育委員会議に「吹田の社会教育の在り方」を諮問</p>

年	項 目
昭和48年 (1973年)	<p>3月 吹田市社会教育委員会議中間答申 ○青少年に関わる行政の総合的な推進 ○青少年問題全般にわたって教育の範疇 ○対策面を教育と分離し専門部の設置による総合的な推進</p> <p>市長部局に青少年対策室(現在の青少年室)が設置され、青少年問題協議会から委嘱されていた青少年指導員と市教育委員会から委嘱されていた青少年指導ルーム指導員を一体化し、市より青少年指導員として委嘱され、健全育成と非行防止を目的に活動するようになる</p> <p>青少年対策委員会へ市から補助金を支給し、各種団体の組織化と事業展開(活動の場の提供)依頼される</p>
昭和50年 (1975年)	<p>吹田市社会教育委員会議答申 ○青少年問題の教育と対策の分離の効果について、常に検討を加える</p>
昭和54年 (1979年)	<p>吹田市 青少年健全育成強調月間の推進 (11月)</p>
昭和55年 (1980年)	<p>吹田市立少年自然の家オープン</p>
昭和56年 (1981年)	<p>中央教育審議会答申「生涯学習について」</p> <p>3月 吹田市生徒指導対策会議の設置 ○多発する児童、生徒の問題行動への対応 ○実態把握、要因分関及び指導についての対策を協議</p> <p>7月 中学校区生徒指導連絡協議会の設置 ○各中学校における生徒指導の一層充実 ○学校・関係機関・団体(青少年指導員他)の情報連携</p>
昭和58年 (1983年)	<p>中学校と青少年指導員会の連携を深めるために、吹田青少年野外コンサートを開始 第1回目は江坂公園で実施し、その後、千里南公園に場所を移し現在に至る (青少年指導員会委託事業)</p> <p>○少年非行戦後第3のピーク</p>
昭和60年 (1985年)	<p>全市一斉パトロールの実施 11月の青少年健全育成強調月間の取組み(年1回)</p>
昭和62年 (1987年)	<p>野外コンサートに出演していたバンド系グループを対象に、ヤングフェスティバルをメイシアター中ホールで開始し現在に至る (青少年指導員会委託事業)</p>
平成元年 (1989年)	<p>機構改革により、市教育委員会社会教育部に青少年室が設置され、青少年指導員は市教育委員会の委嘱となり、現在に至る 青少年問題協議会については企画部所管、その後児童部、現在は地域教育部</p>
平成2年 (1990年)	<p>中央教育審議会 「生涯学習の基盤整備について」 答申</p>

年	項 目
平成4年 (1992年)	9月から学校において、土曜休業日が月1回実施されることとなる 土曜日午前中の学校開放事業を「学校週5日制推進委員会」に依頼し実施
平成5年 (1993年)	吹田市青少年指導員会20周年の記念事業として、中高生フェスティバルが千里北公園で実施
平成7年 (1995年)	4月から学校において、土曜休業日が月2回実施されることとなり、土曜日午前中の学校開放事業を「学校週5日制推進委員会」から「青少年指導員会OB会」に依頼先が変更され実施
平成8年 (1996年)	中央教育審議会「21世紀を展望した我が国の教育の在り方」の中で 「地域教育連絡協議会の設置」を提唱 ○ゆとりの中での「生きる力」の育成 ○生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実方策について」 ○全国子供プラン策定 地域の子供の活動を振興、健全育成体制整備
平成11年 (1999年)	「全国子どもプラン」 地域で子供を育てよう（文部科学省緊急3ヶ年戦略） ○子供の体験活動等の情報提供 ○子供たちの活動の機会と場の拡大 ○子供や親への相談体制の整備、家庭教育への支援 4月大阪府教育委員会が「教育改革プログラム」を策定し、教育コミュニティづくりを推進するための「地域教育協議会」の設置を提唱（学校・家庭・地域の協働） 子供の教育に関わる「総合的な教育力の再構築」をめざす 6月 吹田市社会教育委員会議において、「地域教育協議会づくり」を提唱 11月 吹田市青少年問題協議会が「地域教育ネットワークづくり」を提言
平成12年 (2000年)	中高生フェスティバルを改め、各中学校区で中学生を対象とした「中学生対象事業」を実施 （青少年指導員会委託事業） 現在は委託事業なし 中学校区生徒指導連絡協議会を母体として、年度末までに全中学校区で地域教育協議会を設置 各中学校区における教育コミュニティづくりが地域教育協議会に委託される ○学校、家庭、地域の連絡調整 ○地域教育活動の活性化 ○学校教育活動への支援・協力 12月 教育改革国民会議報告「教育を変える17の提案」
平成13年 (2001年)	1月 21世紀教育新生プラン ～レインボープラン～の策定 7つの重点戦略 7月 「学校教育法」と「社会教育法」の一部改正 学校教育・社会教育の相互連携による体験活動の充実

年	項 目
平成14年 (2002年)	<p>4月から、学校週5日制が完全実施される 土曜日の学校開放事業を「青少年対策委員会」に委託し実施</p> <p>文部科学省より「新子どもプラン」が策定され、子供を核とした地域の様々な活動の機会と場の拡大がさげられる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供の放課後、週末活動等の支援事業 地域の教育力の活性化をめざして ○学校内外を通じた奉仕活動、体験活動推進事業
平成15年 (2003年)	<p>こどもプラザモデル事業が12月よりスタート（吹田市教育委員会） 子供たちの安心・安全の居場所づくりをめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽の広場 水曜日の放課後、長期休業日 子供の活動を安全に見守るフレンドを2名配置し、異年齢交流など 子供の自主性の育みを促進する ○地域の学校 土曜日の休業日 スポーツ、文化活動など様々な体験活動の場と機会の提供
平成16年 (2004年)	<p>子供居場所づくり新プラン（文部科学省3ヶ年計画） 地域の大人たちの力を集結し、子供の活動拠点を整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○家庭 教育の原点、心の居場所 子育てのヒント集「新家庭教育手帳」の作成・配布 ○地域 安心・安全な集いの場、活動の場 ↓ 地域子供教室推進事業の推進（文部科学省） <p>地域教育協議会からの推薦による、「吹田市子供の居場所づくり実行委員会」を設置 地域子供教室推進事業をめざす</p>
平成19年 (2007年)	<p>機構改革より「社会教育部」を「地域教育部」に名称変更</p> <p>「放課後子どもプラン」（文部科学省）</p> <p>吹田市「こどもプラザ事業推進本部」を設置 こどもプラザ事業である「太陽の広場」事業の拡充、推進を図る (太陽の広場拡充モデル事業)</p>
平成22年 (2010年)	<p>11月 「子供・若者育成支援強調月間」の推進 (名称変更)</p>
平成23年 (2011年)	<p>4月 吹田市立子育て青少年拠点「夢つながり未来館」オープン (青少年活動サポートプラザ・のびのび子育てプラザ・山田駅前図書館)</p>
平成25年 (2013年)	<p>「こどもプラザ事業推進本部」を廃止し、「こどもプラザ事業運営委員会」を設置 (拡充モデル事業を太陽の広場に統合)</p> <p>10月 市立吹田サッカースタジアム オープン</p>

年	項 目
平成26年 (2014年)	<p>放課後対策の総合的な推進として、「放課後子ども総合プラン」を策定 (厚生労働省・文部科学省共同)</p> <p>吹田市は「太陽の広場」と「留守家庭児童育成室」一体的な取組推進計画</p>
平成27年 (2015年)	<p>「吹田市放課後子ども総合プラン運営会議」の設置</p> <p>太陽の広場は全36校で実施</p>
平成28年 (2016年)	<p>機構改革により「放課後子ども育成課」が地域教育部に移管される</p>
平成30年 (2018年)	<p>7月 「登下校防犯プラン」 関係閣僚会議取りまとめ 文科省 (文科省・厚労省・国交省・警察庁 4省庁が連携)</p> <p>9月 「新・放課後子ども総合プラン」(2019年～2023年) (厚労省・文科省共同)</p>